

ループキャットはアルカリ度がこれまでのオイルに較べ格段に高いのでカーボンスラッジの洗浄性能が格段に上がっております。

そのためある程度の距離を走行した車両に入れると一度に大量にカーボンスラッジが潤滑剤に混入し、オイルフィルターが詰まり気味になります。オイルフィルターが詰まったまま走行すると燃費が落ちますのでループキャットを入れて1000 km走行後、一度オイルフィルターを交換して下さい。

この1000 kmでのフィルター交換後は2万 km 毎にフィルターを交換して下さい。

ループキャットは長期使用出来ますが従来オイルと同じように走行によりオイル量は減少します。オイルレベルゲージで従来オイルの交換時期である5000km 毎にオイルレベルを御確認下さい。オイルレベルが許容最低レベルに近づきましたらループキャットを許容最高レベルまで注ぎ足して下さい。

以上のことを繰り返して15万 km走行しましたらそこで「オイル交換」をして下さい。(特にいいのは8万 km 毎)
(この時は既にカーボンスラッジはない状態ですから最初のように1000 kmでオイルフィルターを交換する必要はありません。)

ループキャットの粘度選定法

従来オイルはSAE規格の「10W30」というような形で表示されています。ループキャットの粘度は下記の対応表を見てお選び下さい。

| SAE 表示 | | ループキャット粘度 |
|--------|---|-----------|
| ○○W20 | → | #68 |
| ○○W30 | → | #100 |
| ○○W40 | → | #150 |

(例えばメーカー指定粘度が5W20であればループキャットは#68です)
